みんなで取り組む
千葉の教育

県教委 NEWS

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1
電話　043-223-4015

Vol.313
７月－２号
令和５年７月発行

県教育委員会の 国際教育交流 について

県教育委員会では、教育振興基本計画に掲げる「世界を舞台に活躍する人材の育成」を目指し、その取り組みの一つとして、子どもたちの国際感覚や多文化理解の向上を目的とした国際教育交流を推進しています。
本号では、県立成田国際高等学校の取り組みを紹介します。

県立成田国際高等学校

成田国際高校が、姉妹校であるアメリカのＪ・Ｆ・ケネディ高校（以下 JFK）の生徒１４名と先生２名を６月８日（木）～１５日（木）の期間に受入れ交流を行いました（全体での交流は４日間）。成田国際高校にとって、姉妹校の受入れは４年振りとなります。JFK の生徒たちは、成田国際の生徒宅にホームステイをしながら教育活動に参加し、日本の高校生と共に様々な体験をすることができました。

6/9（金）１日目

最初は JFK の生徒たちに時差ぼけの様子も見られました。午前中は、成田国際３年生の国際交流委員が JFK の生徒に校内を案内し、その後は授業に参加しました。午後は PTA 国際教育委員会の皆さんのご協力の下、Welcome Party を実施し、JFK、成田国際の生徒、先生方等で盛り上がりました。

一人ずつ自己紹介をする JFK の生徒たち

吹奏楽部や箏曲部の演奏で歓迎

レクレーションでは大盛り上がり

6/12（月）２日目

日本の高校の授業に１日参加し、様々な体験をしました。特に英語の授業では、成田国際の生徒が日本文化を紹介し、JFK の生徒にとっては日本を知る機会となりました。

７名の JFK 生徒が各グループに分かれて活動を行いました

成田国際生徒が持ち寄ったアイテムをもとに日本文化を紹介

クラス全体で写真撮影

6/13（火）３日目

午前中は授業に参加し、午後は日本の伝統工芸・文化を体感できる「飴細工体験」と「茶道体験」に参加しました。飴細工体験では、講師を招いて JFK 高校の生徒に伝統工芸を紹介しました。

講師の説明を聞いて
飴細工を作りました

茶道を通して
「おもてなしの精神」を学びました

日本の伝統工芸・文化を体験
することができました

6/14（水）４日目

最終日は午前中に授業を受け、午後は JFK の生徒のみで振り返りを行いました。その後、最後のホームルームでは、JFK の生徒が所属する各クラスで、クラスメートを前に挨拶をしました。

放課後は剣道体験を行いました。成田国際高校では、剣道の授業にも力を入れており、全生徒が稽古着や防具を着用して授業を行います。今回は剣道部の生徒が中心となって JFK の生徒に剣道を基礎から教えました。

日本について、想定内のことと
想定外のことをまとめました

グループを交換して、
他のグループの発表を聞きました

JFK 高校の生徒が作成した
振り返りシート

初めての稽古着に感動

剣道部の生徒による指導

最後は全員で写真撮影

今回の交流は成田国際高校と JFK 高校の生徒にとって、大変有意義な時間となったようです。JFK 高校の生徒たちは６月１５日（木）には、ホームステイ先の家族や成田国際高校の先生方に見送られ、次の滞在先へ向かいました。

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課 政策室　　電話 043-223-4177

インデックス＆ミニ・トピックス

インデックス（目次）	頁
県教育委員会の国際教育交流について	1.2
インデックス＆ミニ・トピックス	3
令和５年度第３回千葉県教育委員会会議（定例会）の内容について	4
千葉県誕生１５０周年記念事業 ～産業系（農業・工業・商業）高校の取り組み～	5～8
公立中学校の休日部活動の地域移行	9・10
令和５年度いきいきちばっ子「オリジナル弁当コンクール」	11
２０２３活躍が期待される少年・少女「チームちば」の紹介	12
県内学級担任紹介（船橋市立湊町小学校）	13
イベント情報（生涯学習課、文化振興課、競技スポーツ振興課）	別冊

各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

４年ぶり…高校生と赤ちゃんとのふれあい体験授業を実施
～県立松戸向陽高等学校（６月１９日）～

県立松戸向陽高等学校の家庭科の授業では、生命の大切さや育児の楽しさ、大変さを学ぶ機会として、「赤ちゃんとのふれあい体験」を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、４年ぶりの開催となりました。参加した１４組の保護者の中には、４年前のふれあい体験を経験したＯＢ、ＯＧの保護者もおり、「子育てするときに、今日の経験を思い出してほしい」とのアドバイスをいただきました。

体内のエコー写真や母子手帳を見ながら、命の大切さを実感しています。

赤ちゃんと一緒にお遊び「かわいい！！」

最後は「大きな栗の木の下で」…参加者全員で踊りました。

【本件に関するフォトニュースはこちら↓】
https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-2023/230619.html

◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト　：https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html
フォトニュース　：https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html
ご意見・ご提案メール　：https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

＜アンケート＞
県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。（←ここをクリック）

令和５年度第３回千葉県教育委員会会議（定例会）の内容について

開催日　令和５年６月１４日（水）　議案及び報告は以下のとおりです。

≪ 審議事項 ≫

（ 議 案 ）
第　５　号報告　専決処分の申し入れについて
第　６　号報告　市町村立中学校長の人事について
第１５号議案　学校職員の懲戒処分について
第１６号議案　学校職員の懲戒処分について
第１７号議案　学校職員の懲戒処分について

（ 報 告 ）
報　　告　１　千葉県公立高等学校入学者選抜改善検討会議報告書について
報　　告　２　令和６年度公立学校教員採用候補者選考志願状況について

［ 問い合わせ先：０４３－２２３－４００４　企画管理部教育総務課 ］
ホームページ http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/soumu/press/2023/050614-2.html（第３回結果）

令和６年度公立学校教員採用候補者選考の志願状況について（報告２）

志願状況（受付期間：令和５年４月３日～令和５年５月１２日）

１　内訳

		募集人員	志願者数			志願倍率
			志願者	ちば夢志願者	志願者総数	
小学校		約　790 名	1,472 名	281 名	1,753 名	1.9 倍　※1
中学校　中・高共通		約　750 名	2,607 名	320 名	2,927 名	3.5 倍　※1
高等学校		若干名	144 名	23 名	167 名	
特別支援教育		約　80 名	344 名	48 名	392 名	4.3 倍　※1
養護教諭	一般選考	約　55 名	345 名	67 名	412 名	6.3 倍　※1
	特別選考					
栄養教諭		若干名	37 名	37 名	37 名	
合計		約 1,700 名	4,949 名	739 名	5,688 名	2.9 倍　※1

※１「ちば夢チャレンジ特別選考」の志願者数を除いた倍率

２　障害者を対象とした障害者枠の志願者数　１２名
※障害者枠は、全区分（養護教諭を含む）を対象に、５名程度採用予定

◆◆◆◆◇◇◇◇教 育 委 員 の 活 動 （ ６ 月 ）◇◇◇◇◆◆◆◆

千葉県誕生１５０周年記念行事

６月１１日(日)、千葉県誕生１５０周年記念式典が、森のホール２１（松戸市文化会館）で開催され、教育長、委員５人が参加しました。式典は３部に分かれており、第１部は「ちば文化資産切手デザインコンテスト表彰式・ちば文化資産オリジナルフレーム切手贈呈式」と千葉県１５０年の歩みが上映されました。第２部は、熊谷知事と千葉県誕生１５０周年記念事業の総合プロデューサーの小林武史氏と総合ディレクターの北川フラム氏とのトークセッションが行われ、第３部は千葉県少年少女オーケストラ、千葉交響楽団による記念コンサートが行われました。

千葉県誕生１５０周年記念事業

～産業系（農業・工業・商業）高校の取り組み～

令和５年６月１５日に千葉県が誕生して１５０周年を迎えました。県教育委員会では、児童生徒たちが郷土への愛を深められるよう、小・中・高・特別支援学校で様々な取り組みを実施します。

今回は職業系専門学科（農業・工業・商業）設置校を中心とした県立高校の取り組みを紹介します。

農業系高校の取り組み

農業系高校の取り組みでは、千葉県誕生 150 周年を記念したポスターを作成して販売会の PR を行い、各校が栽培・収穫した農作物や製造した製品等を２回販売しました。各企業に御協力をいただき、１回目は６月 17 日（土）に千葉駅ペリエ前のコンコース、２回目は６月 24 日（土）にホテルポートプラザちばにて行いました。農業関係高校 14 校（薬園台・流山・清水・成田西陵・下総・多古・旭農業・大網・茂原樟陽・大原・安房拓心・君津・君津青葉・市原）が参加しました。

ペリエ前コンコースでの農産物販売会

JR 千葉駅のペリエ前のコンコースは、たくさんの人で溢れました。各校の生徒たちは通行人の方々に元気よく声をかけ、自ら栽培した農産物や加工品等を PR しました。

たくさんの人で賑わう
ペリエ前のコンコース

トウモロコシやジャムを販売する
大網高校の生徒たち

安房拓心高校が製造した
枝豆味噌

ホテルで朝市（ホテルポートプラザちば）

販売開始前からたくさんの人で賑わいました。開会式では、農業部会長の茂原樟陽高校伊藤校長先生から、「千葉県誕生から 150 年間、現在も農業は千葉県の基幹産業であり、県民の誇りとも言えます。千葉県で『農』と『食』を学ぶ生徒、学生は貴重な存在であり、将来の千葉県、日本の人々の食生活を守る未来の担い手であると確信しています。」と話がありました。

開会式で挨拶をする伊藤校長先生（茂原樟陽高校）

たくさんの来場者で賑わう会場

薬園台高校園芸科で育てた野菜

君津青葉高校で育てたトウモロコシ

キウイジャムを販売する清水高校の生徒たち

旭農業高校は焼菓子やレトルトカレーも販売

農業関係高校 14 校の他にも、特別支援学校２校（市川大野高等学園・市原特別支援学校つるまい風の丘分校）と農業大学校が参加しました。

工業系高校の取り組み

工業系高校の取り組みは、県立千葉工業高校がカウントダウンボードを製作し、他にも式典の記念品となる文鎮製作を行いました。現在金属３D プリンター、レーザー加工機を使用してキーホルダー製作にも取り組んでいます。

また、県内３校の工業系高校（千葉工業・東総工業・茂原樟陽）が小中学校と協働して取り組む「１００年後の千葉未来会議」を実施します。

千葉県誕生 150 周年記念式典の記念品

６月１１日（日）に松戸市の森のホール２１で行われた１５０周年記念式典では、国会議員をはじめ、たくさんの方が出席されました。来賓の方々には、記念品として、チーバくんのオリジナルの文鎮が配付されました。文鎮３００個を県立千葉工業高校の電子機械科の生徒・先生方が時間をかけて丁寧に製作しました。

「CHIBA150th」の文字とチーバくんが綺麗に彫られています。式典の出席者には記念品となる文鎮が贈られました。

千葉県誕生１５０周年記念ロゴマーク入りのケースに入れて贈られました。

千葉工業高校にはたくさんの精密機械があります。これらの機械を使用してオリジナルの文鎮が製作されました。

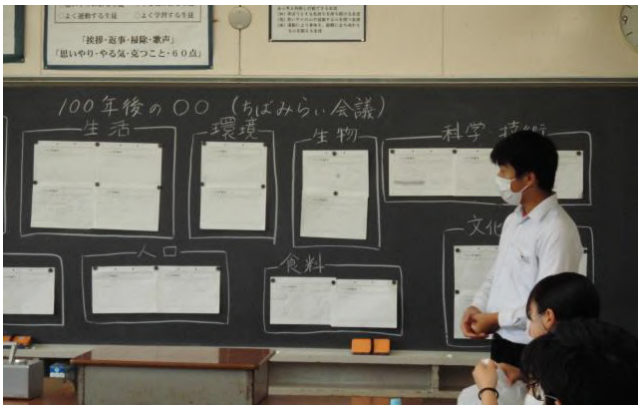
「１００年後の千葉未来会議」

県立千葉工業高校、県立東総工業高校、県立茂原樟陽高校の３校が工業高校ならではの強みを生かし、小中学校と協働して１００年後の様々な分野について考え、発表等を行います。

今回は茂原樟陽高校環境化学科５名の生徒が、６月２２日（木）に九十九里中学校を訪問し、専攻している環境化学を通した出前授業を行いました。その後は、中学生が事前に作成したワークシートを基に話し合いを実施しました。

環境化学部に所属する生徒 5 名が芳香剤作りを通してポリマーの性質を教えました。

各グループに高校生が 1 名ずつ入って中学生にアドバイスしました。



100 年後の化学・情報、環境について様々な意見が出ました。高校生は自分たちが学んでいる分野に関連させて意見を発表しました。

最後は高校生５名と九十九里中の生徒会役員４名で写真撮影をしました。

商業系高校の取り組み

商業系高校では、企業と連携した取り組みとして、山崎製パン株式会社からビジネスについて学び、協同で商品開発を進める取り組みを５月から行っています。

また、今後千葉県誕生 150 周年をテーマとする研究発表会を実施する予定です。

山崎製パンとの連携

５月から山崎製パンと県立商業高校４校（千葉商業・銚子商業・東金商業・君津商業）の連携が始まり、48 名の生徒が参加しています。６月 27 日（火）には第３回目のワークショップが市川市の山崎製パン※総合クリエイションセンターで行われ、７月に予定している新商品のプレゼンの練習を行いました。

各校の具体的な商品開発案については、現時点ではお知らせできません。どの学校のどの商品が選ばれるか、正式発表までお待ちください。終了後は、山崎製パンの担当者の方々から、講評や今後に向けたアドバイスをいただきました。

※県教委ニュース Vol.311（6 月-2 号）P.2 において、誤って「総合クリエーションセンター」と記載しておりました。
正しくは、「総合クリエイションセンター」となります。お詫びして訂正いたします。

千葉商業高校
「地産地消」を生かした商品開発を提案

銚子商業
顧客満足度について発表

東金商業高校
千葉県の作物を使用した商品開発を提案

君津商業高校
具体的な商品を３つ提案

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課 政策室　　電話 043-223-4177

公立中学校の休日部活動の地域移行

国は、公立中学校の休日部活動について、今年度から段階的に学校単位の活動から地域単位へと移行していく方針を示し、令和５年度から令和７年度までの３年間を改革推進期間としています。千葉県では基本的には国の方針に則り、休日部活動の地域移行を進めていくものとしていますが、市町村に対しては、一律に完了の年限を設けず、地域の実情も考慮しながら進めていくよう支援していくこととしています。

◇ 地域移行の目的

公立中学校の休日部活動の地域移行の目的は、

① 少子化が進む中、将来にわたり、中学生世代のスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を補償すること。

② 教員の働き方改革の推進が喫緊の課題である中、部活動の指導は一部の教員にとって大きな業務負担になっており、その軽減を図ること。

◇ 千葉県の取組について

１　ガイドラインの発出

昨年度末（令和5年3月31日）に、「地域全体で子どもたちを育てる学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン」を県内の市町村に示しました。今後、各市町村では、このガイドラインに則った、市町村ごとのガイドラインを策定し、各学校に示すことになります。

内容は、「1　学校部活動」、「2　地域クラブ活動」「3　学校部活動を地域へ移行するための環境整備」、「4　大会等への参加」、「5　安全に配慮した体制整備」の5章構成となっています。また、運動部、文化部合同の内容となっているのも特徴です。（県教委 HP）

２　今後のスケジュールについて

上記の千葉県版ガイドラインでは、令和5年度から令和7年度までを「改革推進期間」として、具体的な進捗目標を示しました。

〇R5年度⇒市町村で1部活動の地域移行を進める。

〇R6年度⇒各学校で1部活動の地域移行を進める。

〇R7年度⇒各学校で複数部活動の地域移行を進めるとともに、市町村に対しては、域内の部活動の完全移行までの計画を示すよう求める。

（これは県の示す目安であり、市町村の実態を優先）

３　千葉県部活動地域移行実行委員会の運営

千葉県では昨年度から「千葉県部活動地域移行実行委員会」を開催し、地域移行に係る県としての方向性や各団体等の情報共有をすることで、休日部活動の地域移行を進めています。（メンバーは、千葉県スポーツ協会、千葉県スポーツ推進委員連合会、千葉県スポーツ少年団、千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、千葉県小中学校体育連盟、生涯スポーツ振興課、競技スポーツ振興課、文化振興課、学習指導課、保健体育課等）

４　総括コーディネーターの配置

今年度から、運動部担当として、各教育事務所に1人ずつ、また、文化部担当として、教育庁学習指導課内に１人（予定）の総括コーディネーターを配置。担当市町村の進捗の管理や協議会設立等についての相談業務にあたり、市町村の支援をしています。

５　人材バンクの設置

地域移行に関しては、人材の確保が大きな課題であることから、広域で活用できる人材バンクの設置を予定しています。今後、指導者登録が始まりますので、先生方も指導に携わりたい方は、登録をお願いします。（今後 HP 上で詳細について掲載予定）

６　情報発信

これまで、国、県、市町村という行政サイドでの情報共有は、ある程度進みましたが、部活動の主体である生徒の皆さんや、その保護者の皆さん、学校や指導に当たる先生方への情報提供が十分ではありませんでした。今後、ホームページやリーフレット等を活用し、地域移行に関する情報を広く、県民に提供していくとともに、各市町村教委には、地域移行に係る市町村のスケジュールや方向性等を決定し、所管する学校や生徒、保護者の方々に周知するよう依頼していきます。

◇ 地域移行に向けたQ&A

Q1　今後地域移行は、平日にも適用されるのか。

A1　スポーツ庁・文化庁は、平日については「進められる状況があれば進める」というスタンスです。平日については、指導者の確保を含め課題が多いことから、千葉県では、まずは休日について確実に進めていくことを優先しています。（ある程度、休日の目途が立った状況で、国の動向に注視しつつ、平日についても検討していくこととしていますが、改革推進期間中の平日の地域移行を妨げるものではありません。）

Q２　教員が地域クラブを立ち上げることはできるのか。

A２　できます。ただ、その際、クラブの運営に係る報酬を得ることはできません。クラブの責任者を地域の方（PTA 会長や後援会会長、区長等）にお願いし、自分は指導者として指導に当たることで、報酬を得ることはできます。（兼職・兼業の申請が必要）

Q3　部活動の地域移行は、学校から部活動を切り離すことが目的か。

A3　地域移行の目的は、①生徒の活動機会の確保、②教員の働き方改革の２点です。生徒や教員にとっての選択肢を増やす一方、指導を希望しない教員が無理に指導にあたらなくてもよい環境を作ることがねらいです。

Q4　平日と休日で指導者が違う場合、生徒は混乱しないか。

A4　この地域移行は、学校部活動を休日に限り地域の指導者が指導をするということではありません。原則として、学校部活動は平日に実施し、休日は行いません。そこで、休日については、地域クラブ活動が中学生を受け入れて活動するという考え方であり、もともと、学校部活動と地域クラブ活動の活動目的も違うことが想定されます。教員と地域の指導者が連携して情報共有することは、ある程度必要かもしれませんが、指導法を統一する必要はありません。いわば「塾の先生」と「学校の先生」の関係と同じです。同じ教科・単元を教えることがあっても、「塾の先生」と「学校の先生」が必要以上に連携をとり、同じような教え方をすることはありません。地域移行も同じです。

Q5　休日の指導を望む教員は、どうすればよいのか。

A5　休日に地域クラブ活動で指導者として指導を希望する教員は、その地域クラブ活動に指導者登録をして、学校の設置者（市町村教委）に兼職・兼業の許可をとることで指導に当たることができます。この場合は、指導報酬も得ることができます。また、無報酬のボランティアであれば、基本的には兼職・兼業の許可もいりません。（市町村の規定により、兼職届等を出さなければいけない場合もあります。）

Q６　この地域移行は高等学校にも適用されるのか。

A６　高等学校については、部活動が学校の大きな特色となり、学校の魅力づくりという一面もあることから、一律に地域移行を進めることに適さない学校や部活動もあります。今後、国の動向等を注視しながら、県としての方向性を検討していきます。

Q7　R8 年度以降は、学校部活動はなくなるのか。

A7　令和５年度から７年度までの改革推進期間終了後の令和８年度以降は、地域クラブ活動が一定程度進んでいるものと考えられますが、市町村によっては、様々な理由から、地域クラブ化が進まず、学校部活動が残る場合も考えられます。市町村が計画する、休日部活動の完全移行に向けたプランに沿って進めていくことになりますが、学校部活動であっても、休日の活動については「部活動指導員」や「クラブチームとの連携」「拠点校部活動」など、教員が指導に当たらなくても済む体制を整備して進めるようガイドラインに示しています。

Q8　大会の参加についてはどうなるのか。

A8　大会の参加については、学校部活動も地域クラブ活動もどちらも総体に参加できるよう、中体連が専門部ごとに仕組みを考え、今年度（R5）から実施します。しかし、初年度ということもあり、今後様々な課題が出てくることも予想されます。その課題に対応しながら、数年かけてよい仕組みを作っていくことになります。

この件についてのお問い合せ先
教育振興部
○（運動部）保健体育課　電話 043-223-4108
○（文化部）学習指導課　電話 043-223-4061

令和５年度
いきいきちばっ子「オリジナル弁当コンクール」

ちばの恵みでまんてん笑顔

１　応募の期間　　令和５年７月２４日（月）～１１月２日（木）

２　応募するお弁当　　食（しょく）に関する学習ノート「いきいきちばっ子」で学習し、自分で献立を考えて実際に作ったお弁当

【テーマ】「ちばの恵みでまんてん笑顔」

（千葉県産食材を使ったお弁当）

チーバくん

３　応募できる人　　千葉県内の学校に通っている小学５年生・６年生
千葉県内に住んでいる小学５年生・６年生

４　応募用紙の郵送先　〒２６０－８６６２　千葉市中央区市場町１－１
千葉県教育庁教育振興部保健体育課給食班

５　応募にあたって気を付けること

(1)応募用紙を使って応募してください。　＊インターネットからダウンロードできます。

オリジナル弁当コンクール　応募用紙	検　索

(2)応募用紙には、作ったお弁当の写真を１枚貼り付けてください。
応募した写真はデジタルデータ（JPEGなど）で保存しておいてください。

(3)キャラクターなどをイメージしたお弁当は応募できません。＊チーバくんは使用できます。

(4)入賞した方には、チーバくんグッズをプレゼントします！入賞した方の氏名や学校名、お弁当の写真が、印刷物やホームページで紹介されることがあります。

(5)応募用紙は、パソコンを使って作成してもよいです。（応募用紙をダウンロードして作成）

(6)応募用紙は返却されません。

６　審査について　①栄養バランス　②衛生面　③経済性　④いろどり　⑤食材の組み合わせ
⑥地産地消　⑦オリジナル性　のそれぞれを審査します。

※各賞の発表については、２月に所属の小学校宛てにお知らせします。

★令和４年度の優秀賞★　**（そのほかの入賞作品は、県ＨＰに掲載しています。）**

〔個人の部〕

「戦国千葉！めざせ甲子園」
◆佐倉市立西志津小学校
森田　有愛さん

「小さい秋の宝石箱」
◆市川市立宮田小学校
平井　理咲さん

「夏休みもお仕事頑張ってね！
愛情たっぷりSDGs弁当」
◆松戸市立八ヶ崎小学校
猪股　弥生さん

〔団体の部〕

「絆が深まるお弁当」
◆市原市立有秋西小学校
和賀　ななみさん
川原　心和さん

この件についてのお問合せ先
千葉県教育庁教育振興部保健体育課　【電話　０４３－２２３－４０９５】

基本目標4 【施策11】「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進

２０２３活躍が期待される少年・少女「チームちば」の紹介

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」に向けて、「チームちば」の活動が本格的に始動しました。天皇杯入賞・皇后杯入賞奪還に向け、「チームちば」の若き選手たちの活躍を紹介します。

ホッケー

《男子：大原高校(青)vs 成東高校(赤)》

《女子(インターハイ予選時)：大原高校(黒)－成東高校(赤)》

チーバくん

令和５年６月１０日に特別国民体育大会関東ブロック大会千葉県選手選考会が、いすみ市大原グラウンドにて開催されました。少年男子では大原高等学校と成東高等学校による試合が行われ、インターハイ予選に次ぐ熱い戦いが繰り広げられました。また、少年女子はインターハイ予選時に男子と同じ両校が戦いましたが、今回は両校からの選抜メンバーが、成年女子のメンバーと強化試合を行いました。少年男女共、関東ブロック大会へ向け、日々強化に取り組んでいます。

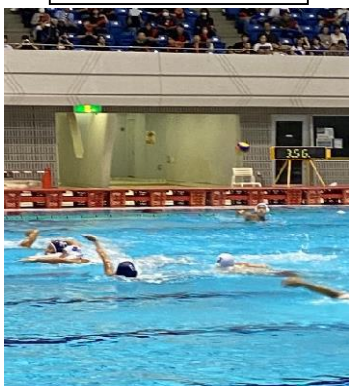
ホッケー競技は成年種別の選手たちも積極的に少年種別の高校生たちの強化に協力し、一丸となって競技力の向上を目指しています。激戦となる８月の関東ブロック大会を１位で通過し、最後の国民体育大会である鹿児島国体に出場できることを期待しています。

水泳（水球）

令和５年６月１０日、１１日に特別国民体育大会関東ブロック大会千葉県予選会を兼ねた、千葉県高等学校選手権水球リーグ戦（男子）及び千葉県女子水球競技大会が行われました。「水中の格闘技」と言われる水球競技は、ゴールを狙う攻防の中で、選手達が見せる気迫溢れるプレーが魅力の競技です。

今大会では、男子：千葉敬愛高等学校、女子上位リーグ：秀明八千代高等学校が、それぞれ優勝を果たしました。この２チームの選手達を中心に、８月３～６日に埼玉県さいたま市で行われる特別国民体育大会関東ブロック大会に、千葉県選抜チームとして出場します。激戦の関東ブロックを突破し、鹿児島国体での更なる活躍を期待します。応援よろしくお願い致します！

競技の様子（男子）



競技の様子（女子）

お問い合わせ先：
環境生活部　スポーツ・文化局
競技スポーツ振興課
電話：０４３－２２３－４１０４

県内学級担任紹介

日々、児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生方を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名：船橋市立湊町小学校

担任名：松坂　陽子
教員経験：１７年目
（令和５年５月１日現在）

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

学級の中で担任と児童とのつながりから、児童同士のつながりへと変化しているのを感じた時です。子供たち自身で学びを伝え合い深め合えるクラスを目指します。

授業で心掛けていること

「全員参加」と「メリハリ」です。○×カードやわりばしくじなど、挙手する児童だけではなく、全員が自分の意見を伝えられるように小道具を準備しています。

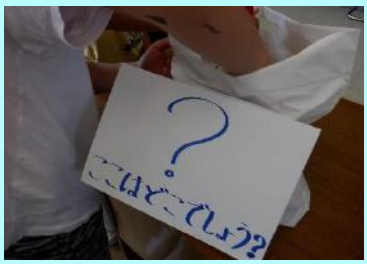
私の好きな「こ・と・ば」

「ありがとう」です。多くの方々に支えられながら好きな仕事ができていることに感謝しています。

タイトル【ここはど～こだ？！】
社会科授業におけるミニゲーム

○地図帳遊び
１児童がある地名を板書します。
２他の児童は机に伏せて、合図で一斉に地図帳の索引を使って、その場所を探します。
３見つけた児童はその場に立ちます。
４答え合わせでどこにあるのか、周囲には何があるか地図帳から見つけた情報を伝え合います。

○都道府県クイズ
各地のお土産コーナーにある「名産品がデザインされたキーホルダー」を集めています。授業ではそれを児童が引き、名産品などのヒントから、どの都道府県かを当てるクイズをしています。



この件についてのお問い合わせ
企画管理部　教育政策課
電話０４３－２２３－４０１５

県教委ニュース　イベント情報

さわやかちば県民プラザ
県立図書館
青少年自然の家

No.1

「ちばりすネット」で、みんなの学びを応援します！

さわやかちば県民プラザでは、県内の講座イベント情報などの生涯学習に関する情報をインターネットを通じて提供する「ちばりすネット」を運用しています。

以下の講座やイベント以外にも、たくさんの情報が詰まっています。地域や日時、内容などで**絞り込んで検索**することもできますので、ぜひご活用ください。右記ＱＲコードからアクセスできます。

▼さわやかちば県民プラザ

［〒277-0882 柏市柏の葉 4-3-1］ 電話 04-7140-8600　https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/

◆ちば子ども大学

令和５年度　ちば子ども大学（７・８月）

		講座名 学習内容	実施日 時間	形態	場所	募集対象	募集人数	講師
主催講座	1	**【特別講演】無限の可能性に向かって** グリーンロケッツ東葛の選手が、夢を抱いて努力することの素晴らしさについて語ります。	8/19（土） 10：00～ 12：00	講演	アゴラ	小4～中3	親子 100組	NECグリーンロケッツ東葛 所属選手
	2	**パラスポーツの魅力に迫る！** ボッチャをとおして、パラスポーツの魅力について考えます。	7/28（金） 10：00～ 12：00	講義 実習	アゴラ		20	千葉障がい者スポーツ指導者協議会 理事・事務局長 門脇　倭雄　氏
	3	**スイーツ教室～千産千消を添えて～** 千葉県の特産を学び、その特産を使用してスイーツを作ります。	8/5（土） 10：00～ 12：00	講義 実習	料理室		12	一般社団法人日本糀文化協会 代表理事 大瀬　由生子　氏
協力機関講座	1	**最新の農業はすごいことになっている** 日光や、土を使わない農業を見学体験します。	8/2（水） 13：30～ 17：00	講義 実習	柏市柏の葉 6-2-1		10	千葉大学環境健康フィールド 科学センター 准教授　塚越　覚　氏
	2	**身体でリズムを表現しよう！！** 五感で音楽の魅力を感じて、豊かな感性を育むことの素晴らしさを学びます。	8/3（木） 10：30～ 12：15	講義 実習	松戸市岩瀬 550		20	聖徳大学短期大学部保育科 講師　森岡　紘子　氏
		※協力機関講座は、協力機関で開催されます。						

「ホンモノから学ぶ、ホンモノ体験」を基本方針としたちば子ども大学。小学校４年生から中学校３年生を対象に、自分がやってみたい、学んでみたい講座を選択し、その道のプロフェッショナルから「体験をとおした新たな価値観」「世の中のふしぎ」そして「ふるさと千葉県」を学びます。講座の中には協力機関を会場として行うものもあり、より現場の空気感を味わいながら学習できる機会を提供します（詳しくは、ホームページをご覧ください。）。その他にも連携機関の講座についてはホームページをご確認ください。

申　込：さわやかちば県民プラザホームページからＷｅｂ申込フォームにて必要事項を入力

締　切：各講座開催の１か月前から１週間が申込期間。定員を超えた場合は抽選。
申込期間終了後、定員に満たない場合は４日後の正午より残数を先着順。

申し込み・問い合わせ先：さわやかちば県民プラザ　事業振興課
電話：０４－７１４０－８６１５

ホームページのＵＲＬ：https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/kodomodaigaku/

◆子育て講演会

さわやかちば県民プラザでは、ありんこ親子保育園　園長　中嶋　悦子　氏を講師に迎え、対面受講とオンライン受講の選択制で、「子育て講演会」を実施します。子育て世代が日頃抱える悩みや疑問に対するアドバイスをもらったり、幼少期の遊びの工夫を学んだりする講座です。

日　時：令和５年８月６日（日）午前１０時から正午まで
会　場：さわやかちば県民プラザ（柏市柏の葉４－３－１）
　　オンライン参加の場合 Zoom
対　象：（１）子育て中の方（乳幼児～小学校就学前程度）
　　（２）子育て支援に興味のある方
　　（３）幼稚園・小学校教諭、保育士等の子供に関わる職に就いている方
募集人数：対面３０組と、オンライン５０名（両方とも申込多数の場合は抽選）
内　容：演題：「子育てを楽しむための子育てコーチング　～大人にも子供にもワクワクを～」
　　講師　ありんこ親子保育園　園長　中嶋　悦子　氏
費　用：無料
申込方法：（１）さわやかちば県民プラザホームページの申し込みフォームから申し込み。
　　【URL】https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/plugin/databases/detail/288/705/653
　　（２）応募締切：７月 24 日（月）まで期間を延期しました。

◆ちばアカデミア講座Ⅱ

さわやかちば県民プラザでは、研究機関や大学等との連携講座である、「ちばアカデミア講座」を開催します。第２回目の今回は、菱川師宣記念館　館長　笹生　浩樹　氏をお招きし、「千葉県の偉人　～浮世絵の祖　菱川師宣～」について学びます。

日　時：令和５年８月２６日（土）午後２時００分から午後４時００分まで
場　所：さわやかちば県民プラザ（柏市柏の葉４－３－１）３階　中研修室２
参加費：無料
対　象：どなたでも
定　員：６０名　※定員を超えた場合は抽選
申込方法：（１）来所：総合受付にて、所定の申込用紙で申し込む。
　　（２）Ｗｅｂ：さわやか県民プラザホームページＷｅｂ申し込みフォームにより申し込む。
　　【URL】https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/plugin/databases/detail/288/705/666#frame-705
　　（３）電話：04-7140-8615 に午前９時から午後５時までの間に電話で申し込む。
　　申込締切：令和５年８月１９日（土）

▼県立中央図書館

［〒260-8660 千葉市中央区市場町 11-1］ 電話 043-222-0116　https://www.library.pref.chiba.lg.jp/

〇定期開催するもの（参加費：無料）

◆おはなし会

絵本を読んだり、おはなし（ストーリーテリング）をしたりします。

保護者の方から離れて、一人でおはなしがきける５歳から小学生のお子さんが参加できます。

日　時：毎週土曜日　午後２時から午後２時３０分まで

ホームページのＵＲＬ：

https://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/central/_24.html

◆親子で楽しむえほんの会

３、４歳のお子さんと保護者の方が参加できる会です。

親子で絵本や言葉に親しんでみませんか。

日　時：毎月第２・４土曜日　午前１０時３０分から午前１１時まで

※この時間帯以外でも、当日の児童資料室開室時間中に親子の方から希望があれば、可能な限り「いつでも」えほんの会を行います。どうぞお気軽にご来館ください。

ホームページのＵＲＬ：

https://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/central/_24.html

▼県立鴨川青少年自然の家

［〒299－2862 鴨川市太海 122-1］ 電話　04-7093-1666　http://www.echiba-sports.org/kamo/wp/

◆シーカヤック大冒険～内房編～

太平洋とは趣の違う東京湾で、大海原のシーカヤックツーリングを楽しむとともにゴールした達成感を参加者全員で共有します。

日　時：８月２６日（土）午前１０時から午後３時まで　雨天中止

場　所：県立鴨川青少年自然の家（最寄駅 JR 太海駅から徒歩１５分）

参加費：１,２００円（保険代、弁当代、飲料代、体験費（シーカヤック）代）

対　象：小学４年生以上のペア

定　員：２０名（申込先着順）

申　込：７月２６日（水）午前９時から電話により申し込み

締　切：８月１６日（水）ただし、定員になり次第締切

申し込み・問い合わせ先：県立鴨川青少年自然の家

電　話：０４－７０９３－１６６６

No.4

ちばで体験活動！　～四季折々の感動体験・夏～

千葉県内の青少年教育施設では、様々な体験活動プログラムを実施しています。
自然に触れながら、体を動かしたり、おいしいものを作って食べたり、生き物を観察したり、学んだり…体験活動をしてみませんか。今回は夏におすすめの活動を紹介します！

○県内青少年教育施設ネットワーク化検討協議会の構成施設
各施設で体験できる活動プログラムを県ＨＰに掲載しています。
右記 QR コードからアクセスできます。

No.5

県教委ニュース　イベント情報

美術館・博物館

▼県立現代産業科学館　プラネタリウム上映会
「千葉の星めぐり－150 年の歩みとこれから－」

市原市の工場群　画像提供：(有)大平技研

千葉県誕生 150 周年を記念して、県内で見られる過去から現在の星空をテーマに、特別なプラネタリウムを上映します。

世界的に有名なプラネタリウム・クリエーター大平貴之氏が、新作プラネタリウムを制作。小湊鉄道の線路沿いや、養老渓谷の神秘的な空間、産業の発展を感じる工場群などの上空に広がる星空を、超高解像度投影システム「MEGASTAR-FUSION」で再現します。

日　　時　８月４日（金）～23 日（水）（期間中は休館日なし）
　　１日５回上映、各回 30 分（要事前予約）
予約方法　７月 30 日（日）から予約開始（先着順）
　　現代産業科学館のホームページから予約
料　　金　一般 500 円、高校生・大学生 250 円（入館料含む）
※中学生以下・65 歳以上・障害者手帳等をお持ちの方とその介護者１人無料
会場・問い合わせ：県立現代産業科学館　（市川市鬼高 1-1-3）
　　電話 047-379-2000　　現代産業科学館　検索

▼房総のむら「むらの縁日・夕涼み」

江戸時代の町並みを再現した房総のむらでは、８月５日（土）、６日（日）の２日間、午後８時まで開館して、昔ながらの「縁日・夕涼み」を再現します。

大道芸や和太鼓の演奏の他、夏にちなんだミニ風鈴の絵付け体験や、怪談話、金魚すくいなど、夏の風物詩をぜひご家族でお楽しみください。

会　期　８月５日（土）、６日（日）
開　館　午前９時～午後８時（風土記の丘資料館と一部エリアは午後４時 30 分まで）
入場料　一般 300 円、高校・大学生 150 円
　　※午後４時 30 分以降は一般・高校・大学生 100 円
　　※浴衣・甚平着用の方は終日無料
　　※中学生以下･65 歳以上･障害者手帳等をお持ちの方とその介護者１名は終日無料
会場・問い合わせ　県立房総のむら（印旛郡栄町龍角寺 1028）
　　電話 0476-95-3333　　房総のむら　検索

体育関連施設の注目イベント情報

▼東総運動場　[旭市]0479-68-1061
https://www.cue-net.or.jp/kouen/toso/

ヒルトレックコース利用案内

ヒルトレックコースは、起伏のある草原を走るヒルトレックトレーニングに由来し、約８千㎡の草地の斜面を利用した、１周約１ｋｍの本格的なトレーニングコースです。
心肺機能の向上、筋力アップを目指す全てのアスリートに有効なコースです。

◆日　時：通年利用可（ただし、大会等利用時を除きます。）
◆料　金：無料
◆申　込：利用する場合は、事前に予約をして下さい。
受付期間は、利用日の２ヶ月前の１日から、利用日までで、先着順に申し込めます。
例　９月１０日に使いたい場合　⇒　７月１日～当日まで受付可
※利用日の２ヶ月前の１日が休場日の場合は翌日が受付開始日となります。
◆利用内容等について
・スパイクの利用は禁止です。ジョギングシューズ等で利用してください。
・順路に沿って走ること（時計と逆周り）。逆走は禁止です。
・運動場施設の利用は、トイレ以外使用できません（更衣室等は使えません）。
・陸上用具の貸し出しはできません。

▼東総運動場　[旭市]0479-68-1061
https://www.cue-net.or.jp/kouen/toso/

多目的広場・広場等利用案内

多目的広場は、高麗芝：約２千㎡。広場は、高麗芝：約８千㎡でグラウンド・ゴルフ、陸上大会時のアップ場として利用できます。

◆日　　時：通年利用可
◆料　　金：無　　料
◆申　　込：占用して利用する場合は、事前に予約をしてください。
受付期間は、利用日の２ヶ月前の１日から、利用日の３日前まで、先着順に申し込めます。
例　９月１０日に使いたい場合　⇒　７月１日～９月７日まで受付可
※利用日の２ヶ月前の１日が休場日の場合は翌日が受付開始日となります。
◆注意事項：球技は禁止です。ボールが広場の外へ出る可能性のある競技（グラウンド・ゴルフ、ゲートボール等は除く）には利用できません。
※サッカー大会時のアップ場としての利用の場合に限りサッカー利用は可能です。
ただし、ボールが外へ出る可能性のある練習はできません。
スパイクでの利用は芝生保護のため禁止です。アップシューズ等で利用してください。
運動場施設の利用は、トイレ以外使用できません。（更衣室等は使えません。）
陸上用具の貸出しはできません。
天候、芝生の状況により利用を制限する場合が有ります。